

# 県民健康調査「妊産婦に関する調査」の実施状況について

## 第1 平成25年度「妊産婦に関する調査」中間報告（平成26年10月31日までの回答）

### 1. 実施状況

平成25年度「妊産婦に関する調査」においては、対象者を①平成24年8月1日から平成25年7月31日までに県内で母子健康手帳を交付された方、②その期間内に県外で母子健康手帳を交付され、県内で妊婦健診や分娩をされた方とした。

平成25年12月中旬以降15,218件を発送し、平成26年7月31日未回答者へ調査票の再発送を行った。

### 2. 調査の主な集計・分析

#### (1) 回答率・回答者数について

回答者数(回答率)は7,209人(47.4%)であった。地域別にみると、県北地域1,918人(52.7%)、県中地域1,969人(44.2%)、県南地域585人(48.2%)、相双地域531人(45.1%)、いわき地域1,184人(44.7%)、会津地域831人(45.8%)、南会津地域83人 (51.2%)、県外108人であった。

#### (2) 妊娠結果について

- ・ 母子健康手帳交付後の流産の割合0.78%、早産の割合5.38%は、平成23年度(流産0.77%、早産4.75%)、平成24年度(流産0.81%、早産5.74%)とほぼ変わらなかった。
- ・ 単胎における先天奇形・異常の発生率は2.35%であり、平成23年度(2.85%)、平成24年度(2.39%)同様、一般的な発生率(3~5%)とほぼ同様であった。先天奇形・異常の中で最も多かった疾患は、心臓奇形の発生率(0.92%)であった。

#### (3) 母親のメンタルヘルスについて

- ・ うつ傾向ありと判定された母親の割合(24.5%)は、平成23年度(27.1%)、平成24年度(25.5%)と比べ経年的に減少傾向を示した。

(参考：健やか親子21(母子保健の国民運動計画)によると、エジンバラ産後うつ指標を用いて評価した「産後うつ」の割合は9.0%(平成25年)であるところ、本調査結果から算出されるエジンバラ産後うつ指標による産後うつの推定割合は13%。推定資料：Mishina H, et al. *Pediatr Int.* 2009; 51: 48.)

#### (4) 妊娠・分娩のケアについて

- ・ 「今回の妊娠・分娩全般に関して十分にケアを受けられたと思いますか？」に対し、「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答した割合は2.3%であり、平成24年度(3.5%)を下回った。
- ・ 予定をしていた施設で妊婦健診・分娩を継続しなかった割合は、14.7%であり、平成23年度(24.6%)を下回ったが、平成24年度(14.1%)と同様であった。地域別では、36.3%と県外が最も高く、平成24年度(26.9%)と同様であった。自分で県外に変えた人は22.4%であり、平成23年度(54.7%)を下回ったが、平成24年度(24.9%)と同様であった。
- ・ 妊婦健診を予定通りに受診できなかった割合は2.2%であり、平成23年度(18.8%)を下回ったが、平成24年度(2.2%)と同様であった。















































